

	自作教材・教具名	使用場面等
No. 3	スイッチ付シュレッダー	生活単元学習
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを押すとシュレッダーが動くことが分かり、自ら操作することができる。 ・実態に応じた操作しやすい道具を使用することで、生徒が意欲や見通しをもって作業に取り組み、自分の役割に気付くことをねらう。 	
教材の概要		
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
<p><規格>縦 15 cm × 横 17 cm × 高さ 10 cm</p>		
<材料>		
<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">・シュレッダー（乾電池式） <li style="width: 50%;">・紙の差し入れ口 <li style="width: 50%;">・スイッチ <li style="width: 50%;">・BDアダプター 		
<作り方>		
<ul style="list-style-type: none"> ・シュレッダーに紙の差し入れ口を取り付ける。 ・シュレッダーにBDアダプターを取り付け、スイッチとつなぐ。 		
<使い方>		
<ul style="list-style-type: none"> ・差し入れ口に紙を差し込む。 ・スイッチを押す。 ・スイッチ付シュレッダーに、「1入力2出力ボックス」とタブレット端末を接続することで、シュレッダーの動きに合わせて音楽が流れるようにしたり、紙の細断が終わったタイミングを効果音で知らせたりすることができる。 		
工夫点・おすすめポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・スイッチを押すとシュレッダーが動くという因果関係が分かりやすく、生徒が達成感をもって取り組める。 ・実態に応じたスイッチを使用することで、生徒の得意な動きでシュレッダーを操作することができる。 	
参考文献・Web	<ul style="list-style-type: none"> ・金森克浩編著「【改訂版】障がいのある子の力を生かすスイッチ制作とおもちゃの改造入門」、明治図書、2014年。 	